

防災週間

8月30日(日)
～9月5日(土)



9月1日は「防災の日」です。関東大震災が発生した日であるとともに、昭和34年の伊勢湾台風によって戦後最大の台風被害を被ったことも契機となり、「防災の日」と定められました。

自分たちのまちは自分たちで守る！！

自助：自らの手で自分・家族を災害から守ること。

自助として必要なこと

【家具の転倒防止対策】

地震が起きた時、ケガ、火災、避難障害の「3つの危険」から自分たちの身を守るためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。

また、いざという時に安全に自宅で過ごすためにも、家具の転倒防止対策は必須です。

【日頃の備え】

食料品や日用品の備えは、地震後の生活の支えになります。



転倒・落下・移動防止



共助：となり近所で協力し合って、ともに地域を守ること。

共助として必要なこと

【防災訓練への参加】

「首都直下地震等による東京の被害想定」の中で、

初期消火率を向上することにより死者数・焼失棟数の被害を大幅に軽減できることが示されました。

防災訓練に参加し、いざという時のために、消火器による初期消火の訓練を行いましょう！



各署防災週間・救急医療週間に伴うイベントの開催状況 ※初期消火訓練できます

消防署	行事内容	日時	場所
田園調布	防災救急フェア	8月30日(日) 9:30～12:00	田園調布せせらぎ館 大田区田園調布1-53-12
大森	防災救急フェア	9月5日(土) 10:00～15:00	イトーヨーカドー大森店 大田区大森北2-13-1

＜問合せ先＞

大 森 消防署 3766-0119 田園調布消防署 3727-0119
蒲 田 消防署 3735-0119 矢 口消防署 3758-0119



救急医療週間

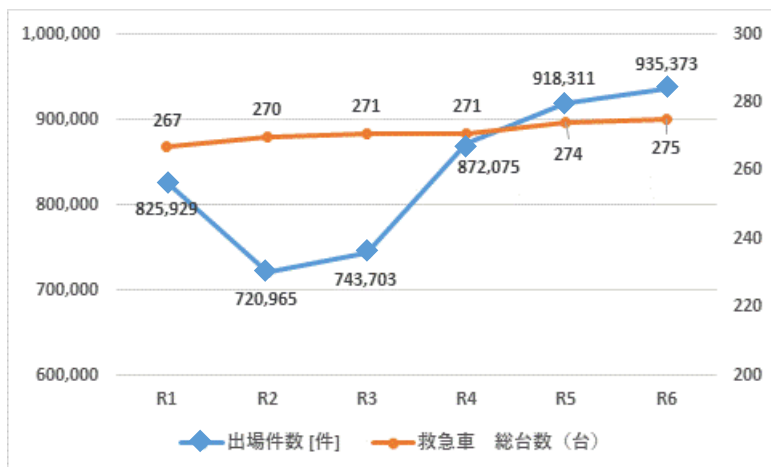
9月6日(日)
~9月12日(土)



9月9日は「救急の日」です。救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図る目的として、9月9日を「救急の日」と決めました。

救急車の適時・適切な利用をお願いします

令和元年から救急出場件数約109,000件増加！



救急車の出場件数が増えています

救急車の出場件数が増加すると、現場から遠い救急車が出場することが増え、到着するまでの時間が長くなるため、**救える命が救えなくなる恐れ**があります。

応急手当は命をつなぐ大切な行動です

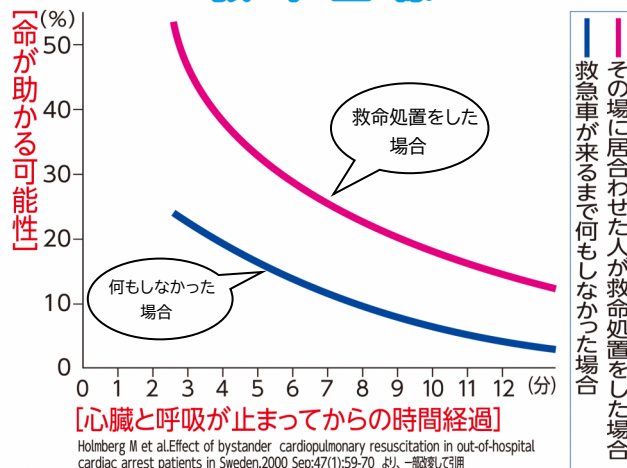
突然の事故や急病。その場にいる人がすぐに対応できるかどうかで、その後の予後に大きく影響します。

各消防署では救命講習を実施しています。

講習では、突然倒れた人への対応(心肺蘇生)、AEDの使い方、出血時の応急処置(止血法)など、緊急時に役立つ知識と技術を実践的に学べます。

お申し込み方法は各消防署のホームページ、またはお電話から。

救命曲線



病院？救急車？迷ったら…

ネットで簡単！

AIによる緊急度判定！

GPSによる医療機関検索！



東京版救急受診ガイド (Web版)

